

## 目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
議会事務局	体系外事業	3	議会管理費	議会経常管理費	簡易	1
議会事務局	体系外事業	6	議会管理費	議会会議システム管理費	簡易	2
議会事務局	体系外事業	10	議会活動費	議会経常活動費	簡易	3
議会事務局	体系外事業	941	監査管理費	監査経常管理費	簡易	4

事業番号	事務事業名	議会経常管理費	所管課名	議会事務局	令和 5 年度課長名	金平 憲明
00003	政策名	6	体系外	係名	議事係	担当者・シート作成者
	施策名	61	体系外事業	根拠法令等	地方自治法、鏡野町議会会議規則等	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・各種組織団体への参画支援、研修会等の実施、議会活動に関する情報収集、資料の作成等の活動支援、議会会議録の作成業務、ライブ配信業務、議会ホームページの運営業務等	・議会活動の支援を行うため

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 議会議員	ア 議員数	人	見込 実績	15 14	14 14	14 14	14	13
イ 議会事務局職員	イ 職員数	団体	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 積極的な議員発議	ア 議員(委員会)提出議案	件	目標 実績 達成率	10 15 150.0%	10 9 90.0%	10 8 80.0%	10	10 80.0%
イ 本会議・委員会等のライブ・録画配信による情報発信	イ ライブ・録画配信の視聴回数	回	目標 実績 達成率		5,000 4,301 86.0%	5,000 6,517 130.3%	6,000	6,000 108.6%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 会議等の開催	ア 本会議・委員会・全員協議会・勉強会等の開催回数	回	目標 実績 達成率	100 106 106.0%	100 82 82.0%	100 97 97.0%	100	100 97.0%
イ 会議等のインターネット配信	イ インターネット配信回数	回	目標 実績 達成率		50 35 70.0%	50 50 100.0%	50	50 100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 01		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		議会費		議会費		議会費		01	03	議会経常管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	6,617	6,428	<b>6,874</b>	6,643	6,800	446	一般財源	5,410	5,848	<b>5,850</b>	6,643	6,800	2			
合計	6,617	6,428	<b>6,874</b>	6,643	6,800	446	合計(A)	5,410	5,848	<b>5,850</b>	6,643	6,800	2			
財源名称							従事正職員人数	2	2	<b>2</b>	2	2				
							延べ業務事務時間	1,720	1,203	<b>1,522</b>	1,600	1,800	319			
							人件費計(千円)(B)	5,884	4,044	<b>5,076</b>	5,336	6,003	1,031			
最終予算額			<b>6,874 千円</b>	予算執行率		<b>85.1%</b>	トータルコスト(A+B)	11,294	9,892	<b>10,926</b>	11,979	12,803	1,033			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・インターネットによる議会中継の回数が増えたことで、視聴回数が伸びた。 ・AI自動文字起こしレコーダーの導入により、会議録作成の負担軽減につながった。 ・ホームページがリニューアルされたことに併せて、閲覧者(町民)が分かりやすい、探しやすい、使いやすい記事ページに改善していく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	議会会議システム管理費	所管課名	議会事務局	令和 5 年度課長名	金平 憲明
00006	政策名	6	体系外	係名	議事係	担当者・シート作成者
	施策名	61	体系外事業	根拠法令等	地方自治法、鏡野町議会基本条例、鏡野町議会会議規則等	金平 憲明

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・平成30年4月から本格的に運用に取り組み、ペーパーレス化を図った。	・議会改革の一環として、経費削減、地球温暖化対策に寄与するとともに、議会会議の効率化等を図るため、平成28年度から導入を検討し、視察調査を経て、平成29年度に端末機を37台整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 議会議員、執行部	ア 議会議員、事務局、執行部	人	見込	37	37	38	38	37
			実績	36	36	38		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア コピー代を削減する	ア 会議開催数で除した平均コピー代	円	目標	2,200	2,200	2,200	2,000	2,000
			実績	2,238	2,921	1,975		
			達成率	101.7%	132.8%	89.8%		98.8%
イ 本会議、委員会等で使用する回数を増やす	イ 本会議・委員会・全員協議会・勉強会等の開催回数	回	目標	100	100	100	100	100
			実績	106	82	97		
			達成率	106.0%	82.0%	97.0%		97.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 取組研修会、議員勉強会	ア 研修会、勉強会の開催数	回	目標	1	1	3	3	3
			実績	1	1	3		
			達成率	100.0%	100.0%	33.3%		33.3%
イ 端末機の利用	イ 本会議・委員会・全員協議会・勉強会等の開催回数	回	目標	100	100	100	100	100
			実績	106	82	97		
			達成率	106.0%	82.0%	97.0%		97.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 01		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		議会費		議会費		議会費		01	06	議会会議システム管理費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	3,520	3,585	3,898	3,330	3,500	313	一般財源	3,353	3,198	3,824	3,330	3,500	626			
合計	3,520	3,585	3,898	3,330	3,500	313	合計(A)	3,353	3,198	3,824	3,330	3,500	626			
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2					
	延べ業務事務時間						1,720	1,203	1,522	1,600	1,800	319				
	人件費計(千円)(B)						5,884	4,044	5,076	5,336	6,003	1,031				
最終予算額 3,898 千円			予算執行率			98.1%	トータルコスト(A+B)		9,237	7,242	8,900	8,666	9,503	1,657		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	・委員会のオンライン開催を可能とする条例改正を行った。今後の問題点・課題として、セキュリティの確保、表決の方法、除斥の方法、機器のトラブルの際の対応などが挙げられ、今後、運用規程を検討する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	議会経常活動費	所管課名	議会事務局	令和 5 年度課長名	金平 憲明
00010	政策名	6	体系外	係名	庶務係・議事係	担当者・シート作成者
	施策名	61	体系外事業	根拠法令等	鏡野町議会政務活動費の交付に関する条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・政務活動費は、条例に基づき議員の調査研究に資するための必要経費として交付するもので、領収書を添付した報告書を確認し年度末に一括交付する。金額は月額1万円が上限。 旅費は、公務による陳情・視察研修等の経費、議会活動を行うために要する経費。費用弁償は支給しない。 ・議会だより「かしの木」の発行(年4回、16ページから20ページ程度)	・地方自治法に基づき、町条例で政務活動費を位置付け、議員活動に要する必要経費の支給を規定した。 ・開かれた議会を目指し、令和元年9月から議会だより「かしの木」の発行を始めた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 議会議員	ア 議員数	人	見込	15	14	14	14	13
			実績	14	14	14		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 議会議員の活動を円滑にする	ア 政務活動費交付実績額に対する予算執行率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	75	70	76		
			達成率	75.1%	70.0%	76.0%		76.0%
イ 町民へ議会活動を分かりやすく伝え、関心を高める	イ 議会だよりの発行回数	回	目標	4	4	4	4	4
			実績	5	4	4		
			達成率	125.0%	100.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 政策立案や課題解決に関する研修会等に参加し資質向上を図る	ア 研修会等に参加した議員数	人	目標	14	14	14	14	13
			実績	1	4	3		
			達成率	7.1%	28.6%	21.4%		23.1%
イ 会議等の開催	イ 本会議・委員会・全員協議会・勉強会等の開催回数	回	目標	100	100	100	100	100
			実績	106	82	97		
			達成率	106.0%	82.0%	97.0%		97.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 01 議会費		項 01 議会費		目 01 議会費		大事業 中事業 02 01		予算上の事業名 議会経常活動費					事業番号 00010
	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	5,700	5,557	6,688	6,180	6,500	1,131	一般財源	2,383	3,494	4,207	6,180	6,500	713			
合計	5,700	5,557	6,688	6,180	6,500	1,131	合計(A)	2,383	3,494	4,207	6,180	6,500	713			
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2					
	延べ業務事務時間						1,800	1,800	1,800	1,800	1,800					
	人件費計(千円)(B)						6,158	6,052	6,003	6,003	6,003		-49			
最終予算額 6,688 千円			予算執行率 62.9%			トータルコスト(A+B)		8,541	9,546	10,210	12,183	12,503	664			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・引き続き、政務活動費の適正な運用を期するため、収支報告書の内容をしっかりと精査し、透明性の確保に努める。 ・議会だよりの記事内容、文字の大きさ、見出しの工夫等、紙面構成の検討を進める。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	監査経常管理費	所管課名	議会事務局	令和 5 年度課長名	金平 憲明	
00941	政策名	6	体系外	係名	監査事務係	担当者・シート作成者	金平 憲明
	施策名	61	体系外事業	根拠法令等	地方自治法、鏡野町監査委員条例、鏡野町監査基準		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・監査委員の監査業務に要する経費の支出 ・県下12町村で組織する協議会で、委員活動に関する情報収集、研修等の実施、議会の活動支援、運営指導、委員研修会の開催等	・平成17年3月に条例を制定し、開始した。 ・県内町村議会の連絡調整、議会活動の支援を行うために協議会が設置された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 監査委員	ア 監査委員数	人	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2
イ 監査委員事務職員	イ 職員数	人	見込 実績	2 2	2 2	2	2	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 監査委員及び事務補助職員の資質の向上	ア 研修会等参加回数	回	目標 実績 達成率	4 1 25.0%	4 1 25.0%	4 1 25.0%	4	-
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 監査の実施	ア 一般監査、出納検査、特別監査、決算審査等の所要日数	日	目標 実績 達成率	23 23 100.0%	23 25 108.7%	25 24 96.0%	25	96.0%
イ 議会への出席	イ 本会議、委員会への出席日数	日	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3	100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 06		目 01		大事業		中事業		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		総務費		監査委員費		監査委員費		01	02	監査経常管理費			00941		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	262	262	249	249	250	-13	一般財源	82	87	195	249	250	108			
合計	262	262	249	249	250	-13	合計(A)	82	87	195	249	250	108			
財源名称					従事正職員人数			2	2	2	2	2				
					延べ業務事務時間			80	80	80	80	80				
					人件費計(千円)(B)			274	269	267	267	267	-2			
最終予算額		249 千円		予算執行率		78.3%		トータルコスト(A+B)		356	356	462	516	517	106	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・住民ニーズが多様化・高度化していく中、行政の責任範囲が広がり、監査機能の更なる充実強化が求められている。一方、監査委員事務に携わる職員は兼任2人体制であり、職員の資質向上と要員確保が大きな課題である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	